

科目名		テーマ		
中国語 I A		入門中国語：中国語の発音と基礎を身につける		
担当者名	配当年次	単位数	学科	選択・必修 / 指定科目
戸田 聖子	1	2	経済情報学科	選択必修 / 教職課程科目(66条の6)

[授業の内容・到達目標]

今は行こうと思えば誰でも簡単に外国に行くことができる時代です。休暇中、気の合う友達と一緒に出かけるのもいいし、気楽な一人旅もいいと思います。そんな時、ひとことでもふたことでもその国のことばを話すことができ、それによってその国の人と気持ちを通じ合わせることができたなら、旅行の楽しさはいちだんと増すことでしょう。そして、「ふたことみこと」が通じたら、さらにもっと内容のあることばを通じさせたい！と思うようになるに違いありません。もちろん、その国のことばをもっと知りたいと思うようになります。

ひとつの外国語を学ぶことは、新しい世界への扉をひとつ開けることです。

この科目では、初級レベルの中国語を学びます。まず、中国語がどういうことばであるかをある程度把握した上で、中国語の正しい発音やアクセント、リズムを身につけ、中国語の発音表記（ピンイン）に慣れるための練習を重ねます。半年でピンインを支障なく読めるようにし、基礎的な文法事項をマスターし、ごく簡単な会話表現をこなせるようにすることを目的としています。

また、中国語を学ぶと同時に、そのことばが使われている場所である中国という国について、そしてそれを話して暮らしている中国人という人々についても、幅広く興味を持ってもらいたいと思いますので、中国事情など、折に触れて紹介していくことになります。

[授業方法]

発音など、ひとりひとりの受講生に対する個別の指導に極力重きをおいて授業を進めていきます。まずは発音を身につけることが大事となるので、見当違いの羞恥心などを教室に持ち込むことはやめて、積極的に大きな声で練習するように努めてください。そうすれば、おのずと上達することは間違いありません。

また、語学習得の早道は音読を繰り返すことと短文の暗記です。授業で出てきた単語や文章は、次の授業までにしっかりと頭に入れ、いつでも口をついて出てくるようにしなければなりません。帰宅後、教科書に付属するCDをよく聴きながら、復習をきちんと行なった上で、次の授業に臨んでください。

[成績評価の方法]

- ①授業への参加態度（積極性を評価） 10%
 - ②課題の提出状況（練習問題その他の提出状況とその内容） 20%
 - ③試験の成績（期末試験の他、必要に応じて実施した中間試験や単語の小テストなども含む） 70%
- 以上の配分により成績評価を行うこととします。

[テキスト]

《最新版》『中国語はじめの一步』CD付き
(竹島金吾監修 2005年)

[参考文献]

『はじめての中国語「超」入門』（相原茂 ソフトバンク新書）
『はじめての中国語』（相原茂 講談社現代新書）
『中国語のすすめ』（鐘ヶ江信光 講談社新書）

[履修上の注意・その他]

積極的な授業参加を期待します。どんどん質問してください。

[授 業 計 画]

実 施 回	内 容
1	学習上の留意点・中国の概況
2	中国語の概略と特徴の説明
3	発音の基礎
4	発音の基礎
5	発音の基礎
6	発音の基礎
7	発音の基礎・あいさつ
8	発音の基礎・あいさつ
9	発音の基礎・あいさつ
10	「あなたのお名前は？」－人称代名詞
11	「あなたのお名前は？」－「是」の文
12	「これは何ですか？」－指示代名詞 (1)
13	「これは何ですか？」－疑問視疑問文
14	「これは何ですか？」－「的」の用法
15	「これは何ですか？」－副詞
16	「どちらへ行かれますか？」－動詞の文
17	「どちらへ行かれますか？」－「所有」を表わす「有」
18	「どちらへ行かれますか？」－省略疑問文
19	「この指輪はいくらですか？」－助数詞
20	「この指輪はいくらですか？」－指示代名詞 (2)
21	「この指輪はいくらですか？」－形容詞の文
22	「この指輪はいくらですか？」－「幾」と「多少」
23	「ご飯食べました？」－「完了」を表わす「了」
24	「ご飯食べました？」－「所在」を表わす「在」
25	「ご飯食べました？」－助動詞 (1)
26	「夜、用事がありますか？」－数字
27	「夜、用事がありますか？」－日付・時刻を表わす語
28	「夜、用事がありますか？」－「動作の時点」表現
29	まとめと復習
30	まとめと復習